

10. 特別セッション

「廃炉地盤工学の活用と原子力発電所廃止措置への地盤工学的技術 の貢献方法の検討」

地盤工学会では、文部科学省「英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業 廃止措置研究・人材育成等強化プログラム」において採択された『福島第一原子力発電所構内環境評価・デブリ取出しから廃炉までを想定した地盤工学的新技術開発と人材育成プログラム』（2015年度～2019年度）の遂行にあたって、地盤工学会の日本全国におよぶ広いネットワークと産官学の英知を活用するために、『福島第一原子力発電所廃止措置に向けた地盤工学的新技術と人材育成に関する検討委員会（以降：廃炉地盤工学委員会、東畑郁生委員長）』を設立して活動を行っている。

廃炉地盤工学委員会では、福島第一原子力発電所の廃炉事業への貢献を目的に、地盤工学的技術の廃炉過程での活用と学問的特性の明確化を主体とした「廃炉地盤工学」の創設を目指している。廃炉地盤工学は廃炉作業を担う若手技術者の育成の基礎になることを使命としているが、相互の理解が十分でない「原子力分野」と「地盤工学分野」の架け橋的な役割を担うことも期待されている。このようなコンセプトのもと、原子力関連機関との情報交換の場や学会・講演会等を通じて廃炉に対する取組の情報発信を行ってきており、その成果として、原発廃炉に関する主要な機関である「原子力損害賠償・廃炉等支援機構（NDF）」から機会を与えられ、技術プレゼンをすることができた。

本特別セッションではNDFでの技術プレゼンの内容を紹介するとともに、国から示されている「福島第一原子力発電所の廃炉のための技術戦略プラン」や「廃止措置等に向けた中長期ロードマップ」にもとづく廃炉シナリオを想定し、福島原発の廃炉における地盤工学的技術の活用の可能性を議論する。

日時：2018年7月25日（水）午前I 9:00～10:30

会場：第1会場（サンポートホール高松 大ホール）

主催委員会：福島第一原子力発電所廃止措置に向けた地盤工学的新技術と人材育成に関する検討委員会

座長：東畑 郁生（委員長、関東学院大学）

副座長（総合司会）：小峯 秀雄（委員会座長、早稲田大学）

プログラム：

- | | | |
|-------------|---|---------------------|
| 9:00～9:05 | 挨拶 | 東畑 郁生（委員長、関東学院大学） |
| 9:05～9:20 | 廃炉地盤工学による技術の展開とスリーマイル島原発における
デブリ取出し事例の施工学的解釈 | 後藤 茂（地盤工学会／早稲田大学） |
| 9:20～9:40 | 廃炉までのシナリオと技術マップの活用 | 菱岡宗介（パシフィックコンサルタンツ） |
| 9:40～10:00 | デブリ取出しにおける超重泥水の活用方法 | 成島誠一（西武建設・NB 研究所） |
| 10:00～10:25 | 地盤工学技術の原子力分野への展開に関するフローディスカッション | 司会：小峯 秀雄（早稲田大学） |
| 10:25～10:30 | 閉会の挨拶 | 鈴木 誠（副委員長、千葉工業大学） |